LA MAISON DE MÉMOIRE

That it will never come again is what makes life so sweet.

PRECIOUS SCENE

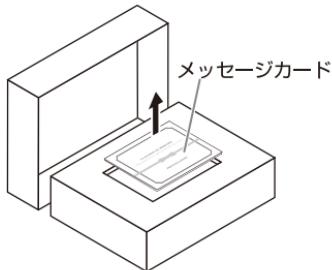
ETERNITY L❤VE

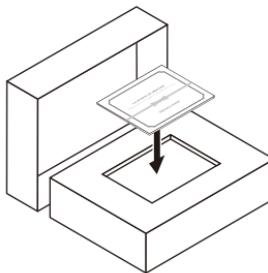
取扱説明書

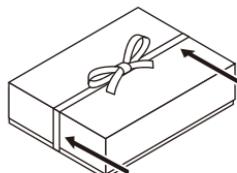
DPF-D7WS11シリーズ
DPF-D7WW11シリーズ

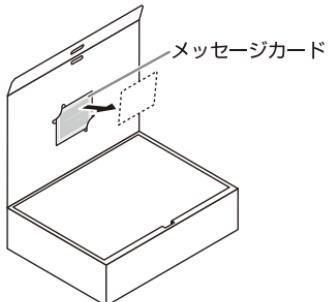
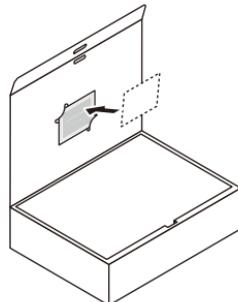
エレコム デジタルフォトフレーム "DPF-D7WS11" シリーズ、
"DPF-D7WW11" シリーズをお買い上げいただき誠にありがとうございます。

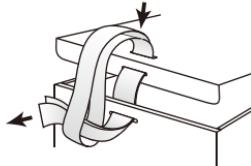
本書では "DPF-D7WS11"シリーズ、"DPF-D7WW11"シリーズ
の使いかたや正しく安全にご使用いただくための
注意事項などについて記載しています。
ご使用前に、必ずお読みください。
また、読み終わったあとは大切に保管しておいてください。

ELECOM

プレゼント用にパッケージする

本製品は、梱包している箱、付属のメッセージカードおよびリボンを利用して、プレゼント用にパッケージすることができます。
※ プレゼント用にパッケージする前に、パッケージ内容を確認してください。
内容に不足や問題がある場合は、お買い上げの販売店にて交換してください。(⇒5ページ)

Precious Scene[プレシャスシーン]の場合

1 箱を開け、メッセージカードと、その中に入っているリボンを取り出す

2 メッセージを記入し、折りたたむ

3 メッセージカードを箱の中に戻し、蓋を閉める

4 リボンの輪に箱を通す

Eternity Love[エタニティーラブ]の場合

1 箱を開け、メッセージカードと、その中に入っているリボンを取り出す

2 メッセージを記入し、折りたたむ

3 メッセージカードを箱の中に戻し、蓋を閉める

4 図のように付属のプレゼントリボンを箱の前面から通す。

5 リボンを結ぶ

INDEX

1 はじめに

パッケージ内容を確認する

ご使用になる前に、本体と付属品が揃っているか、破損していないかを確認してください。

■ Precious Scene［プレシャスシーン］
DPF-D7WS11 シリーズ

本体	リモコン、動作確認用電池
	※動作確認用電池はリモコンにセットされています。（⇒ 16、17 ページ）
AC アダプター	**スタンド**
	※本体背面に取り付けてあります。
メッセージカード	**リボン**
	※メッセージカードの中に入っています。

■ Eternity Love[エタニティーラブ] DPF-D7WW11 シリーズ

本体	リモコン、動作確認用電池
	※動作確認用電池はリモコンにセットされています。(⇒ 16、17 ページ)
AC アダプター	**スタンド**
	※本体背面に取り付けてあります。
メッセージカード	**リボン**
	※メッセージカードの中に入っています。

正しく安全にご使用いただくために

■ 次のことを必ずお守りください

本製品は、安全性に配慮された設計になっていますが、間違った使いかたをすると、感電、火災などの原因になり、けがや事故を起こす恐れがあります。
次のことを必ずお守りください。

① 正しく安全にご使用いただくために、本書の注意事項をお守りください

⇒ 8 ～ 13 ページの内容をよくお読みの上、必ずお守りください。

② 定期的に本製品を確認してください

1 年に 1 回は本製品を確認し、故障していないか、AC アダプターとコンセントが正しく接続されているか、端子やコネクタにちりやほこりがたまっていないかなどを確認してください。

③ 故障したまま使用しないでください

本体やリモコンが壊れた、動作がおかしいなど、故障かな？と思ったときは、すぐに使用を中止して、本製品の電源を切り、AC アダプターをコンセントから抜いてください。そのあとで、「困ったときは」（⇒ 34 ～ 36 ページ）に記載されている対処方法を試してください。
それでも異常が解決しない場合は、お買い上げの販売店またはエレコム総合インフォメーションセンターまでご連絡ください。

④ 万一、異常が起こった場合

本体から煙やにおい、変な音が出た場合は、速やかに次のことを行ってください。

1. 本製品の電源をオフにしてください。（⇒ 20 ページ）
2. AC アダプターをコンセントから抜いてください。（⇒ 20 ページ）
3. お買い上げの販売店またはエレコム総合インフォメーションセンターまでご連絡ください。（⇒ 36 ページ）

■ 絵表示の意味

⚠ 警告	⚠ 注意
この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などによる死亡や大けがなど人身事故の原因になります。	この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり、他の機器に損害を与えたりすることがあります。

「してはいけない」ことを示します。

「しなければならないこと」を示します。

ご注意

「注意していただきたいこと」を記載しています。

メモ

「お願いしたいこと」や「参考にしていただきたいこと」を記載しています。

■ 安全上のご注意

⚠ 警告

分解や改造、修理などをご自分でしないでください。
火災や感電、故障の原因になります。故障時の保証の対象外になります。点検や修理は、お買い上げの販売店またはエレコム総合インフォメーションセンターまでご連絡ください。

本製品に水や金属片などの異物を入れないでください。
水や金属片などの異物が入ったときは、すぐに使用を中止して、本製品の電源を切り、AC アダプターをコンセントから抜いてください。そのあとで、お買い上げの販売店またはエレコム総合インフォメーションセンターまでご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

本製品が発熱している、煙が出ている、異臭がしているなどの異常があるときは、使用を中止してください。
異常があるときは、すぐに使用を中止して、本製品の電源を切り、AC アダプターをコンセントから抜いてください。そのあとで、お買い上げの販売店またはエレコム総合インフォメーションセンターまでご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

本製品は乳幼児の手の届かないところで使用、保管してください。
内部に指を入れるとけがややけどの原因になります。
メモリカードや小さい付属品を誤って飲み込むと、窒息したり、身体に悪影響をおよぼしたりする恐れがあります。万一、飲み込んだと思われる場合は、すぐに医師にご相談ください。

⚠ 警告

雷が鳴りはじめたら本製品に触れないでください。
感電の原因になります。

可燃性スプレーを本製品にかけたり、本製品の周辺で使用したりしないでください。
火災や故障の原因になります。

本体や AC アダプターに水や洗剤をかけたり、浸したりしないでください。
ショートや感電、故障の原因になります。

付属の AC アダプター以外は使用しないでください。
火災や感電、故障の原因になります。

濡れた手で AC アダプターを抜き差ししないでください。
火災や感電の原因になります。

AC アダプターはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。
差し込みが不十分な場合は、ショートや発火、感電の原因になります。

DC コードには、次のようなことをしないでください。
- 重いものを乗せる
- ステープルで止める
- 無理に引っ張った状態で使用する
- AC アダプターなどに巻きつける

とショートや感電、故障の原因になります。

⚠ 注意

本製品を次のようなところには置かないでください。
- 多湿なところ、結露をおこすところ(特に風呂場)
- 日のあたる自動車内、直射日光のあたるところ、暖房器具の周辺など高温になるところ
- 平坦でないところ、振動が発生するところ
- マグネットの近くなどの磁場が発生するところ
- ほこりの多いところ

ショートや感電、故障の原因になります。

本製品は正しく配置してください。
DC コードに足をかけて転倒したり、本体が落下することによって、障害やけが、故障の原因になります。

次のようなときは、AC アダプターを抜いてください。
- お手入れのとき
- 本製品を移動させるとき
- 長時間使用しないとき

ショートや感電、故障の原因になります。

定期的に AC アダプターのプラグを清掃してください。
AC アダプターをコンセントから抜き、乾いた布でほこりをふき取ってください。

本体や AC アダプターをアルコール、シンナーなどの揮発性の液体で拭かないでください。
変質や変色を起こす恐れがあります。

⚠ 注意

本体や AC アダプターに布や布団などをかけないでください。
熱によって変形したり、故障や火災の原因になります。

電源を入れた状態で、本体や AC アダプターを長時間触らないでください。
低温やけどの原因になります。

本体内部を触らないでください。
けがややけど、感電、火災、故障の原因になります。

本体や AC アダプターを倒したり、上に乗ったりしないように注意してください。
けがや感電、故障の原因になります。

液晶ディスプレイに衝撃を与えないでください。
液晶ディスプレイが割れて、けがの原因になります。

小さなお子様のみで使用させないでください。
故障の原因になります。

スタンドを持って本体を持ち上げないでください。
スタンドがはずれて落下することによって、障害やけが、故障の原因になります。

スタンドに強い力をかけたり、スタンドから置いたりしないでください。
スタンド取付け部が破損したり、落下することによって、障害やけが、故障の原因になります。

コネクタ、メモリカード、USB メモリは正しく確実に差し込んでください。
コネクタ、メモリカードスロットの内部に金属片を入れたり、コネクタ、メモリカードを斜めに差し込むと、ショート、火災、故障の原因になります。

メモリカードや USB メモリ、コネクタなどを取り付けたり、取りはずしたりするときは、本体を持ってください。
本体が落下したり、転倒したりすることで、障害やけが、故障の原因になります。

■ 電池について

⚠ 警告

電池が液漏れしたときは、素手で触らないでください。
液が目に入ったり、身体や衣服に付くと、失明、けが、皮膚の炎症などの原因になります。
液の化学変化により、時間が経過してから症状があらわれることもありますので、異常がない場合でも、すぐに次の対処をしてください。
- 液が目に入ったときは、目をこすらずに、すぐにきれいな水で十分にすすいでください。そのあとで、すぐに医師にご相談ください。
- 液が身体や衣服に付いたときは、すぐにきれいな水で十分に洗い流してください。けがや皮膚の炎症などの症状があらわれたときは、すぐに医師にご相談ください。

電池は乳幼児の手の届かないところに保管してください。
電池を誤って飲み込むと、窒息したり、身体に悪影響をおよぼしたりする恐れがあります。万一、飲み込んだと思われる場合は、すぐに医師にご相談ください。

電池に次のようなことをしないでください。
- 火の中に入れる
- 加熱
- 分解
- 改造
- 充電
- 水で濡らす

破裂や液漏れなどで、けがややけどの原因になります。

⚠ 注意

指定以外の電池を使用しないでください。
破裂や液漏れなどで、けがややけどの原因になります。
電池の品番を確認して、指定の電池を使用してください。

⊕と⊖を間違えずに入れてください。
逆に入れると、ショート、発熱、破裂、液漏れなどで、けがややけどの原因になります。

長時間使用しないときや、電池が消耗したときは、リモコンから取り出してください。
液漏れで、けがややけどの原因になります。

リモコンの電池ホルダーを開けたまま使用しないでください。
ショート、発熱、破裂、液漏れなどで、けがややけどの原因になります。

■ ご使用上の注意

取り扱い上の注意

- 液晶ディスプレイに衝撃や圧力を加えないでください。けがや故障の原因になります。
- 本製品に直射日光が長時間当たる場所に置かないでください。故障の原因になります。
- テレビやラジオなど、他の電子機器の近くに置くと、相互に干渉して、テレビやラジオなどに雑音やノイズが発生することがあります。その場合は、テレビやラジオなどから離して置いてください。
- 使用しないときは、電源を切って、メモリカードや USB メモリを抜いておいてください。
- ペットなどを飼っているときは、DC コードをかじったり、本体を倒したりして、いたずらしないように注意してください。事故や故障の原因になります。

結露について

- 寒いところから暖かいところ、または暖かいところから寒いところに急に本製品を移動したり、寒いところで暖房器具を使用したときなど、本体内部に水滴が付くことがあります。そのまま使用すると、本体の部品、メモリカードや USB メモリなどが損傷する恐れがあります。
- 結露が発生した場合は、メモリカードや USB メモリを取り出し、本製品の電源を切ってください。AC アダプターを本製品から抜いて、風通しのよい場所で 2、3 時間置いて乾かしてください。完全に水滴がなくなるまで使用しないでください。

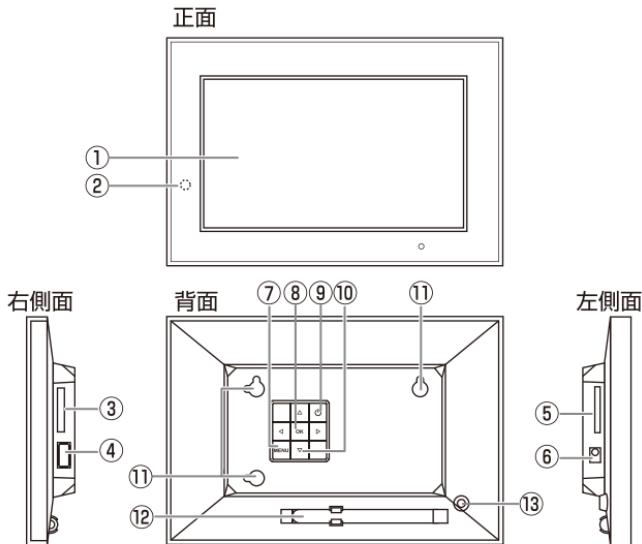
お手入れについて

- 乾いたやわらかい布で軽く拭いてください。その際に、液晶ディスプレイは強く拭かないでください。汚れが取れないときは、布を水で薄めた家庭用中性洗剤に浸し、硬くしぼって軽く拭いてください。そのあとで、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。
- アルコール、シンナーなどの揮発性の液体で拭かないでください。変質や変色を起こす恐れがあります。

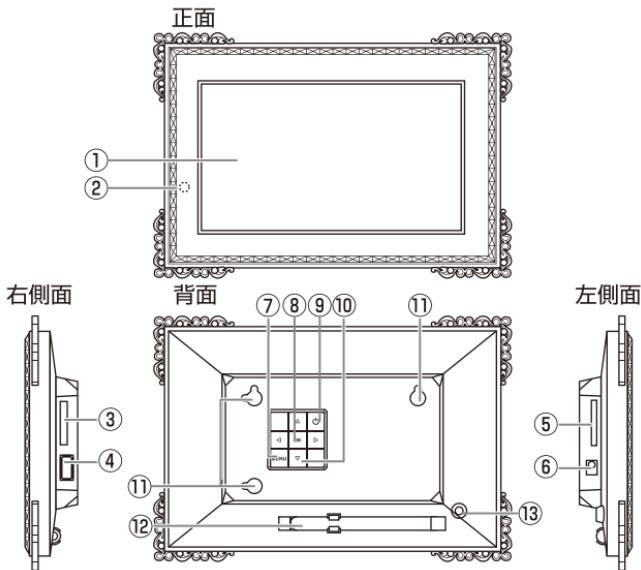
本製品について

万一、本製品の故障で挿入したメモリカードや USB メモリのデータが破損または消去した場合、記録内容の保証はできませんので、ご了承ください。万一の破損や消去に備え、必ずデータをコピーしておいてください。

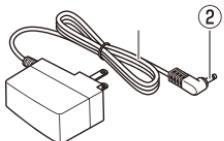
- 次のような場合は故障ではありません。
  - 長時間電源を入れておくと、本体が熱くなる
  - 寒いところで使用すると、画面に縞が見える
  - 液晶ディスプレイに黒い点があらわれたり、白や色のついた点が消えない
- 本製品を使用したことによる他の機器の故障や不具合等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- デザイン、仕様などは改良のため予告なく変更する場合があります。
- 本製品のうち、戦略物資または役務に該当するものの輸出にあたっては、外為法に基づく輸出または役務取引許可が必要です。

本書について

- 本書では、一部の表記を除いて "DPF-D7WS11" シリーズもしくは "DPF-D7WW11" シリーズを「本製品」と表記しています。
- 本書では、メモリカードや USB メモリなど、データを記録する媒体のことをメディアと呼びます。
- 本書は、リモコンでの操作を中心に説明します。
- 本書の著作権は、エレコム株式会社が保有しています。
- 本書の内容の一部または全部を無断で複製 / 転載することを禁止させていただきます。
- 本書の内容に関するご意見、ご質問がございましたら、エレコム総合インフォメーションセンターまでご連絡願います。

商標、登録商標について

- MEMORY STICK、MEMORY STICK PRO、MEMORY STICK DUO及び MEMORY STICK PRO DUOは、ソニー株式会社の商標または登録商標です。
- SD ロゴ、SDHC ロゴ、miniSDHC ロゴ、microSD ロゴ、及び microSDHC ロゴは、SD- 3C,LLC. の商標です。
- マルチメディアカードは独国インフィニオンテクノロジーズ社の商標です。
- その他記載されている会社名･製品名等は、一般に各社の商標または登録商標です。

各部のなまえ

■ Precious Scene［プレシャスシーン］ DPF-D7WS11 シリーズ 本体

① 液晶ディスプレイ
② リモコン受光部
③ メモリカードスロット R
（⇒ 21 ページ）
④ USB ポート（⇒ 21、22 ページ）
パソコンと接続することはできません。
⑤ メモリカードスロット L
（⇒ 21 ページ）
⑥ DC 5V 端子（⇒ 20 ページ）
⑦ メニューボタン
リモコンの MENU ボタンとは異なる働き
⑧ 決定ボタン
リモコンの OK ボタンと同じ働き
⑨ 電源ボタン（⇒ 20 ページ）
リモコンの ⏻ ボタンと同じ働き
⑩ 方向選択ボタン
リモコンの ▲ / ▼ / ▶ / ◀ ボタンと同じ働き
⑪ 壁掛け用穴（⇒ 19 ページ）
⑫ スタンド（スタンド収納部）（⇒ 18 ページ）
⑬ スタンド取付穴（⇒ 18 ページ）

■ Eternity Love[エタニティーラブ] DPF-D7WW11 シリーズ 本体

① 液晶ディスプレイ
② リモコン受光部
③ メモリカードスロット R (⇒ 21 ページ)
④ USB ポート(⇒ 21、22 ページ) パソコンと接続することはできません。
⑤ メモリカードスロット L (⇒ 21 ページ)
⑥ DC 5V 端子(⇒ 20 ページ)
⑦ メニューボタン リモコンのMENUボタンとは異なる働き
⑧ 決定ボタン リモコンのOKボタンと同じ働き
⑨ 電源ボタン(⇒ 20 ページ) リモコンの⏻ボタンと同じ働き
⑩ 方向選択ボタン リモコンの▲ / ▼ / ▶ / ◀ボタンと同じ働き
⑪ 壁掛け用穴(⇒ 19 ページ)
⑫ スタンド(スタンド収納部) (⇒ 18 ページ)
⑬ スタンド取付穴(⇒ 18 ページ)

■ AC アダプター (共通)

① DC コード(⇒ 20 ページ)
② DC プラグ(⇒ 20 ページ)

■ リモコン (共通)

① スライドショーボタン
② 電源ボタン
③ メニューボタン
④ 回転ボタン
⑤ ズームボタン
⑥ メモリカード L ボタン
⑦ メモリカード R ボタン
⑧ フォトモードボタン
⑨ 時計ボタン
⑩ 時計 + 写真ボタン
⑪ 戻るボタン
⑫ 決定ボタン
⑬ 上方向選択ボタン
下方向選択ボタン
左方向選択ボタン
右方向選択ボタン
⑭ 画面分割ボタン
⑮ USB メモリボタン
⑯ コピーボタン
⑰ 消去ボタン
⑱ 設定ボタン

2 準備

本説明書は、DPF-D7WS11 シリーズのイラストを使用して説明していますが、DPF-D7WW11 シリーズでも同じ作業(操作)を行なってください。

リモコンについて

■ 動作確認用電池を使用する

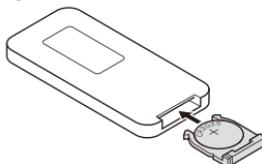
お買い上げ時は、リモコンに動作確認用電池が入っています。
はじめてリモコンを使用するときは、次の図のように保護シートを引き抜いてください。

■ リモコンの電池を交換する

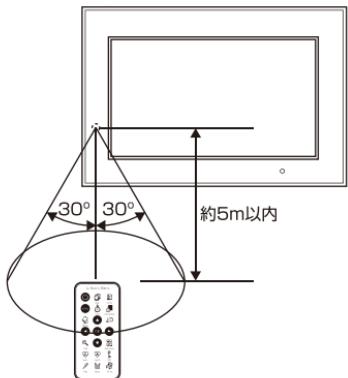
リモコンの反応が鈍くなったときや動かなくなったときは、新しい電池に交換してください。

指定電池:CR2025 リチウム電池

1 リモコンから電池ホルダーを引き出す

電池ホルダーのタブを内側に押したまま、電池ホルダーを引き出します。

2 電池ホルダーから使用済みの電池を取り出す

3 電池ホルダーに新しい電池を入れる

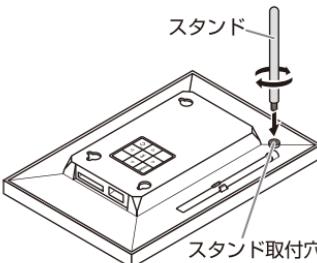
4 電池ホルダーをリモコンに戻す

ご注意

- 電池の交換時にリモコン内部に異物が入らないように注意してください。
- 指定以外の電池は使用しないでください。指定以外の電池を使用すると破裂の恐れがあります。
- 使用済みの電池を廃棄するときは、お住まいの地域の条例および法令に従って処分してください。
- 高温多湿になるところにリモコンを置いたままにしないでください。

■ リモコンで操作できる範囲

次の図の範囲で本体の操作ができます。本体前面にリモコンを向けて、操作してください。

ご注意

- 直射日光の当たる場所や蛍光灯(インバーター式)の下などでは、誤動作をすることがあります。そのようなときは本体の場所を変えてください。
- ボタンを押したときの本体の反応が遅くなったときは、新しい電池に交換してください。
- リモコンを長期間使用しないときは、電池を取り出してください。

本体を飾る

■ 立てて飾る

本体にスタンドを取り付けて、縦または横に立てて飾ることができます。

1 スタンド収納部からスタンドをはずす

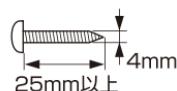
2 本体にスタンドを取り付ける

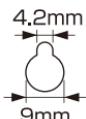
本体背面のスタンド取付穴にスタンドを差し込み、確実に固定されるまで回します。

3 本体を縦または横に立てて置く

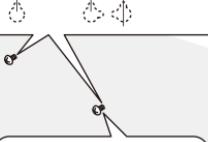
縦横 2 つの置きかたができます。

スタンドを下にして置く

ご注意

- 「自動回転」が「オフ」のとき、写真の縦横自動回転は実行されません。
- 不安定な場所や台の上に置かないでください。
- スタンドを取り付けた状態で、強く押さえつけないでください。

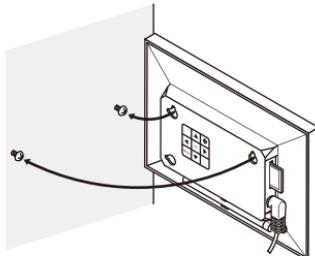
■ 壁に掛けて飾る

本体を壁に掛けて飾ることができます。

1 次のネジ(市販品)を 2 本用意する

- ネジの寸法

- ネジの頭部が本体背面の壁掛け用穴を通ること

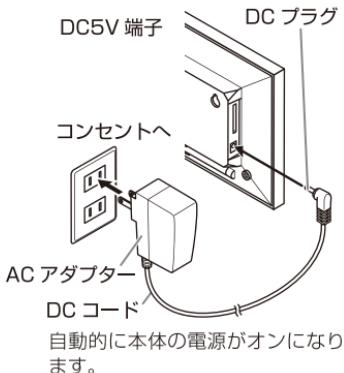
4.2mm

9mm

2 壁にネジを固定する

3 本体を壁に掛ける

1. スタンドを本体背面のスタンド収納部に入れます。
2. AC アダプターの DC プラグを本体の DC 5V 端子に差し込みます。(⇒ 20 ページ)
3. メディアを本体に挿入します。(⇒ 21 ページ)
4. 本体背面の壁掛け用穴をネジに合わせて引っ掛けます。
5. AC アダプターをコンセントに差し込みます。(⇒ 20 ページ)

ご注意

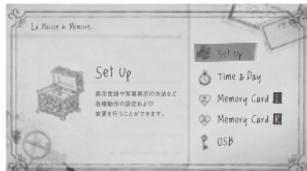
- 壁の強度や材質に適したネジを用意してください。ネジや壁が破損する恐れがあります。
- ネジは壁に確実に固定してください。
- 取り付け不備や強度不足、誤使用、天災による事故、破損については、弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

メモ

- メディアを交換するときは、本体を壁から取りはずしてください。

電源を接続する

1 AC アダプターの DC プラグを本体の DC 5V 端子に差し込む

2 AC アダプターをコンセントに差し込む

自動的に本体の電源がオンになります。

ご注意

- AC アダプターは、すぐに手の届くコンセントに接続してください。壁との隙間など、狭い場所のコンセントに接続しないでください。
- 万一、異常が起こった場合は、すぐに AC アダプターをコンセントから抜いてください。
- AC アダプターのプラグを金属物でショートさせないでください。故障の原因になります。
- 使用しないときは、AC アダプターをコンセントから抜き、DC プラグを DC 5V 端子から抜いてください。

電源をオン / オフする

リモコンの電源ボタン(⏻)、または本体の電源ボタン(⏻)を押すたびに、本体の電源オン / オフが切り替わります。

電源がオンになると、メニュー画面が表示されます。

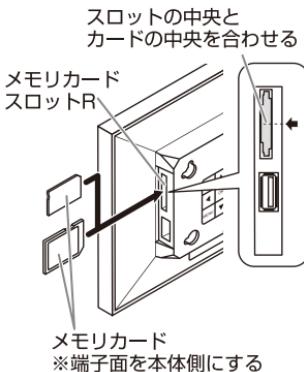
メモ

- AC アダプターを接続すると、自動的に電源がオンになります。
- メディアを挿入している状態で電源をオンにすると、メディア内の写真のスライドショーがはじまります。

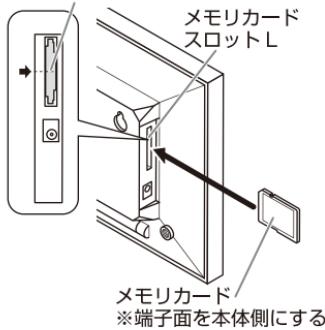
メディアを挿入する

写真の入ったメディアを本体に挿入します。

ご注意

- メディアを抜き差しするときは、本体の電源をオフにしてください。
- メディアを抜き差しするときに、強い力を加えないでください。
- 挿入時に強い抵抗を感じる場合は、端子やコネクタの向きおよび形状が正しいかを確認してください。無理に押し込むと、けがや破損の原因になります。
- メモリカードスロットR：SD メモリーカードとメモリースティックが読み込めます。メモリースティックと SD メモリーカードのメモリカードスロットは共通です。
- メモリースティックと SD メモリーカードを同時に挿入することはできません。
- メモリカードスロットL：SD メモリーカードのみ読み込めます。
- 端子部には触れないでください。けがや破損の原因になります。
- 電源がオンのとき、および写真の再生中にメディアを抜かないでください。データの破損や消去の原因になります。

メモ

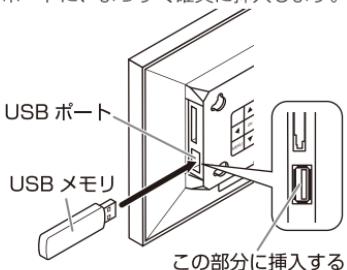
メモリカードスロットと USB ポートなど、複数のメディアを挿入した場合は、あとから挿入したメディアが有効になります。再生するメディアは切り替えることができます。(⇒ 24ページ)

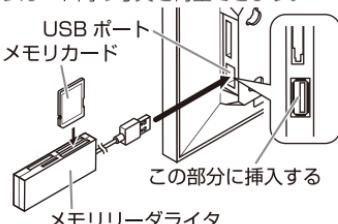
■ メモリカードの場合

メモリカードをメモリカードスロットに、まっすぐ確実に挿入します。

メモリカードスロット R

メモリカードスロット L

ご注意

メモリカードスロット L は、SD メモリーカードのみ読み込めます。

メモ

- miniSD メモリーカード、microSD メモリーカード、microSDHC メモリーカード、MMCmicro、「メモリースティック マイクロ」(M2)を使用する場合は、専用の変換アダプタを使用してください。
- 対応メディアの詳細は、⇒ 37 ページを参照してください。

■ USB メモリの場合

USB メモリの USB コネクタを USB ポートに、まっすぐ確実に挿入します。

■ メモリリーダライタの場合

メモリリーダライタを利用して、メモリカード内の写真を再生できます。

1 メモリカードをメモリリーダライタに挿入する

ご注意

複数枚のメモリカードを同時に使用可能なメモリリーダライタの場合でも、挿入するメモリカードは 1 枚のみにしてください。写真が正しく表示されないことがあります。

2 メモリリーダライタの USB コネクタを USB ポートに挿入します。

ご注意

- 動作条件は、ご使用のメモリリーダライタの取扱説明書で確認してください。
- メモリリーダライタが接地しない状態で使用しないでください。
- メモリリーダライタが本製品に直接挿入しているメモリカードや DC プラグに接触した状態で使用しないでください。

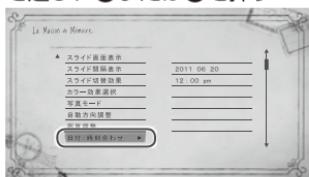
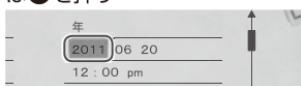
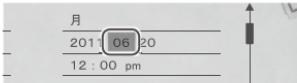
メモ

使用できるメモリカードは、メモリリーダライタによって異なります。詳細はメモリリーダライタの取扱説明書を参照してください。

日付と時刻を設定する

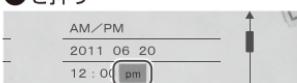
カレンダーや時計の表示、自動電源オン / オフの操作を正確に行うために、現在の日付と時刻を設定します。

1 (Set Up)を押す

設定画面が表示されます。

メモ：本体背面操作

1. MENUを何回か押し、メニュー画面を表示する
2. 「Set Up」を選び、OKを押す

2 ▲ / ▼で「日付 / 時刻合わせ」を選び、OKまたは▶を押す

3 ▲ / ▼で年を設定し、OKまたは▶を押す

4 ▲ / ▼で月を設定し、OKまたは▶を押す

5 ▲ / ▼で日を設定し、OKまたは▶を押す

6 ▲ / ▼で時を設定し、OKまたは▶を押す

7 ▲ / ▼で分を設定し、OKまたは▶を押す

8 ▲ / ▼で AM/PM を設定し、OKを押す

9 BackまたはMENUを押し、メニュー画面に戻る

3 使いかた

写真のスライドショーまたは固定写真を見る

ご注意

本製品は、異なるメディアの写真を混ぜて見ることはできません。

■ すぐにスライドショーを見る

1 を押す

どの画面からでも、現在選択されているメディア内のすべての写真のスライドショーがはじまります。

■ メディア内のすべての写真を見る

1 メモリカードの写真を見るときは (Card L) または (Card R) USBメモリの写真を見るときは (USB)を押す

フォルダ / 写真選択画面が表示されます。

メモ: 本体背面操作

- 本体背面の操作ではフォルダーを指定してのスライドショーのみ表示できます。
⇒ 25 ページを参照してください。

2 を押すと選択したメディア内のすべての写真のスライドショーがはじまります

3 スライドショー中にOKを押すと固定写真、もう一度OKを押すとスライドショーに変わります

■ メディア内の 1 つのフォルダを選んで見る

1 メモリカードの写真を見るときは (Card L) または (Card R) USBメモリの写真を見るときは (USB)を押す

メモ：本体背面操作

1. MENUを何回か押し、メニュー画面を表示する
2. メモリカードの写真を見るときは「Memory Card L」または「Memory Card R」、USB メモリの写真を見るときは「USB」を選び、OKを押す
3. お好みのフォルダー内の写真を選択しOKを押すと選択した写真が固定写真として表示されます
   もう一度OKを押すと選択したフォルダー内のみのスライドショーがはじまります

2 ▲/▼/▶/◀でお好みのフォルダ内の写真を選び、OKを押すと、選択した写真が固定写真として表示されます
もう一度OKを押すと選択したフォルダー内のみのスライドショーがはじまります

メモ

フォルダを選んで写真を見るときは、そのフォルダのさらに中にあるフォルダ内の写真を見ることはできません。

楽しい写真表示

リモコンで簡単にいろいろな操作ができます。

- ◀ 前の写真に戻る
  1 つ前の写真を表示します。
- ▶ 次の写真に進む
  次の写真を表示します。
- OK 再生方法切替
  固定写真とスライドショーの切り替えができます。

  以下の操作は CLOCK&PHOTO の画面ではできません。

- ズーム※(Zoom)
  3 段階で拡大表示します。
- ▲ / ▼ / ▶ / ◀ スクロール※
  ズーム中に表示位置を移動できます。
- 分割(Multi-Photo)
  3 画面：3 枚の写真をいろいろなレイアウトで表示します。
  4 画面：2 ～ 4 枚の写真を組み合わせて表示します。縦置き、横置きでも組み合わせが変わります。
- 写真モード(Screen)
  写真の表示モードを変更します。詳細は、⇒ 33 ページを参照してください。

このデザインの「時計&写真」のみ変更できます。

- 回転※(Rotation)
  時計回りに 90 度ずつ回転します。

※ 固定写真にしているときのみ使用できる機能です。

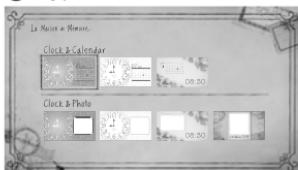
時計やカレンダーを表示する

ご注意

必ず現在の日付と時刻を設定しておいてください。(⇒ 23 ページ)

■ 時計を選択する

1 MENU を押す

2 ▶と◀で「Time&Day」を選び OK を押す

メモ：本体背面操作

1. MENU を何回か押し、メニュー画面を表示する
2. 「Time&Day」を選び、OK を押す

3 ▶と◀でお好みの時計を選び OK を押す

選んだ時計が表示されます。

■ 時計&カレンダーを表示する

1 を押す(Clock)

選択中の時計が表示されます。

2 (Clock)を押すと次の時計に変わります

■ カレンダーを操作する

1 (Clock)を押す

どの画面からでも、時計 & カレンダーが表示されます。

- ▲を押すと次の年、▼を押すと前の年が表示されます。
- ▶を押すと次の月、◀を押すと前の月が表示されます。

■ 時計&写真を表示する

1 を押す(Clock&Photo)

選択中の時計が表示されます。

2 (Clock&Photo)を押すと次の時計に変わります

3 リモコンで簡単にいろいろな操作ができます。

- ◀ 前の写真に戻る
  1 つ前の写真を表示します。
- ▶ 次の写真に進む
  次の写真を表示します。
- OK 再生方法切替
  固定写真とスライドショーの切り替えができます。

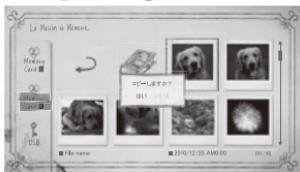
・このデザインの時計は、縦にすると時計も自動的に回転します。

ご注意

「時計 & 写真」での写真モードはすべて「自動調整」で表示されます。

写真をコピーする

⚠警告

- 大文字・小文字・それらの組み合わせに関係なく「data」の４文字を使用したフォルダーをコピーしないでください。正常にコピーできない可能性があります。
- コピー可能な単位は、1 つの写真ファイルまたは 1 つのフォルダです。コピーするフォルダ内に JPEG 以外のファイルがある状態でのコピーはしないでください。写真やフォルダのコピーが完全に行われない場合があります。

ご注意

- 写真のコピーは「Memory Card R」から「Memory Card L」もしくは「USB」から「Memory Card L」に対して可能です。

1 (Card R) または (USB) を押す

2 コピーしたい「フォルダ」または「写真」を▲/▼/▶/◀で選び (Copy)を押す

3 「はい」を選びOKを押す

「Memory Card L」の「data」フォルダ内にコピーされます。

ご注意

- 「Memory Card L」に SD メモリーカードが挿入されていない時は、コピーはできません。

- 初めてコピーすると「Memory Card L」に「data」フォルダが自動的に作成されます。
- 「Memory Card L」に同一の名称があると、そのファイルはコピーされません。
- コピー中に「Memory Card L」のメモリ容量が足りなくなるとコピーは途中で中止されます。
- 本体背面操作では、コピーはできません。
- フォルダをコピーするときに、本製品では表示できない JPEG フォーマット以外のファイルもコピーされます。コピーに時間がかかったり、コピー先の容量がいっぱいになる可能性がありますのでご注意ください。
- コピーできるファイル名、フォルダ名の文字数には制限があります。
  ファイル名＝半角 128 文字、
  　　　　　　全角 64 文字
  フォルダ名＝半角 52 文字、
  　　　　　　全角 26 文字
  制限文字数を超える部分は自動的に名称がカットされます。
- 1 回でコピーできるファイル数・容量には次の上限があります。
  ファイル数＝1024 個、
  ファイル容量（メモリカードのフォーマット形式により異なります）
  　FAT 形式＝2GB
  　FAT32 形式＝4GB

写真を削除する

ご注意

- 写真やフォルダの削除は「Memory Card L」のデータのみ可能です。
- 本製品は SD メモリーカード書き込み禁止にしていても、書き込み・削除を行いますので、誤って削除しないようご注意ください。

1 (Card L)を押す

2 削除したい「フォルダ」 または「写真」を▲ / ▼ / ▶ / ◀で選び (Delete)を押す

3 「はい」を選びOKを押す

削除が実行されます。

ご注意

削除したデータは復元できません。

メモ：コピーや削除にかかる参考時間

		所要時間	
	内容	コピー	削除
写真ファイル	600KB × 1 枚	約 10 秒	約 10 秒
	100MB × 1 枚	約 3 分	約 2 分
フォルダ	600KB×17 枚 ＝約 10MB	約 3 分	約 2 分
	600KB×170 枚 ＝約 100MB	約 30 分	約 25 分

※ SDHC メモリーカード class6 にて検証

ご注意

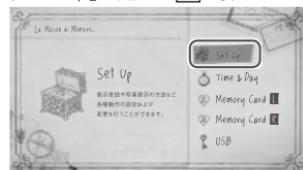
データのコピー、削除の時間はメモリカードの性能、データの数、容量で大きく異なります。一度に大量のデータ転送を実行せず、写真 20 枚、容量 10MB 以下程度のデータを転送することをおすすめします。

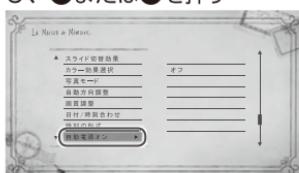
自動的に電源をオン / オフする

指定した時間に電源をオン / オフすることができます。

メモ

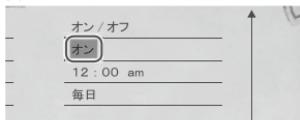
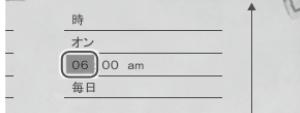
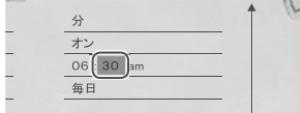
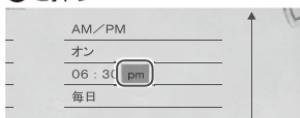
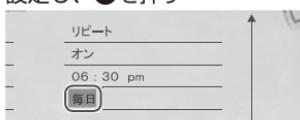
仕事や学校の外出時刻に自動電源オフ、帰宅時刻に自動電源オンなどの使いかたをすると便利です。

ご注意

必ず現在の日付と時刻を設定しておいてください。（⇒ 23 ページ）

■ 自動的に電源をオンする

1 (Set Up)を押す

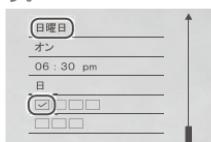
設定画面が表示されます。

メモ：本体背面操作

1. MENUを何回か押し、メニュー画面を表示する
2. 「Set Up」を選び、OKを押す

2 ▲ / ▼で「自動電源オン」を選び、OKまたは▶を押す

3 ▲ / ▼で「オン」を選び、OKを押す

4 ▲ / ▼で時を設定し、OKを押す

5 ▲ / ▼で分を設定し、OKを押す

6 ▲ / ▼で am/pm を設定し、OKを押す

7 ▲ / ▼で繰り返しパターンを設定し、OKを押す

・一度だけ
設定した時刻になると電源をオンします。1 回オンになると、次の日からはオンになりません。

・毎日
毎日繰り返し、設定した時刻に電源をオンします。

日　・
設定した曜日の時刻に電源をオンします。次の順で曜日を設定します。

1. 「日」を選び、OKを押すと、日曜日のボックスが選択されます。

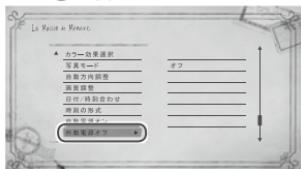
2. 自動電源をオンにする曜日は▲ / ▼で「✓」を選び、OKを押します。

3. 同様にして日曜日から土曜日まで設定します。

ご注意

この設定を有効にするにはOKを押して項目を進め、設定を完了する必要があります。

■ 自動的に電源をオフする

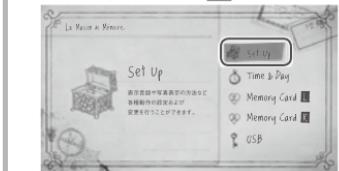
1 (Set Up)を押す
設定画面が表示されます。

メモ：本体背面操作

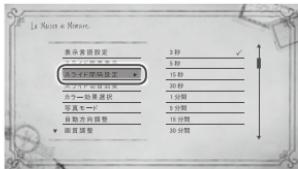
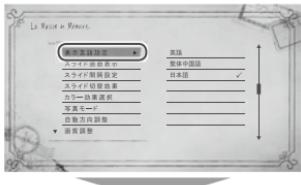
1. MENUを何回か押し、メニュー画面を表示する

2. 「Set Up」を選び、OKを押す

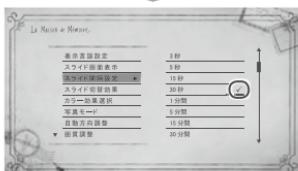
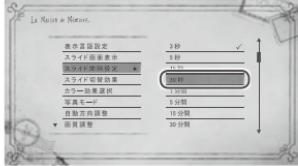
2 ▲/▼で「自動電源オフ」を選び、OKを押す

3 以降の操作は、「自動的に電源をオンする」の手順３～７を参照する(⇒ 30 ページ)

各機能を設定する

本製品をより楽しく便利に活用していただくために、様々な機能を用意しています。必要に応じて設定してください。

■ 設定手順

1 (Set Up)を押す

設定画面が表示されます。

メモ：本体背面操作

1. MENUを何回か押し、メニュー画面を表示する
2. 「Set Up」を選び、OKを押す

2 ▲/▼で設定項目を選び、OKまたは▶を押す

3 ▲/▼で値を選び、OKを押す

メモ

選ばれている値には✓が付きます。

4 MENUまたはBackを押し、メニュー画面に戻る

■ 各機能の詳細

各機能の概要について説明します。

メモ
お買い上げ時の設定を太字で示しています。

表示言語設定

メニュー画面の言語を設定します。
英語 / 繁体中国語 / **日本語**

スライド画面表示

1 画面に表示する写真の枚数を設定します。
1 画面 /4 画面 /3 画面

メモ
4 枚表示のときは、2 ～ 4 枚の写真を組み合わせて表示します。縦置き、横置きでも組み合わせが変わります。

スライド間隔設定

スライドショーのときの写真の切替時間を設定します。
3 秒 /**5 秒** /15 秒 /30 秒 /1 分間 /
5 分間 /15 分間 /30 分間 /1 時間

スライド切替効果

スライドショーのときの写真の切替効果を設定します。
切替効果をお楽しみください。
分割する / シャッター / ボックス /
フェード / 市松格子 / ライン /
ストライプ / ローリングシャッター /
垂直バー / **ランダム**

カラー効果選択

写真のカラーモードを設定します。
オリジナルカラー表示 / モノトーン表示 / セピアカラー表示

写真モード

写真の表示モードを設定します。

- オリジナル
  縦横比を変えずに、そのままの比率で表示します。4：3 や 3：2 などの場合は、黒い帯が表示されます。
- フルスクリーン
  画面いっぱいに表示します。写真の縦横比が変わることがあります。
- **自動調整**
  写真の縦横比と画面の余白の割合をもとに、任意のサイズに拡大します。写真の縦横比は維持されます。

自動方向調整

本体の縦置き / 横置きを変更した場合に、写真の縦横も自動的にあわせて回転させるかどうかを設定します。
オフ / **オン**

画質調整

画面のコントラスト、明るさ、彩度、色合いをそれぞれ 7 段階で設定します。
1/2/3/**4**/5/6/7

日付 / 時刻合わせ

本体の日付と時刻を設定します。
⇒ 23 ページ

時刻の形式

時刻の表示形式を設定します。
12 時間表示 /24 時間表示

自動電源オン

設定した日時に本体の電源をオンするかどうかを設定します。⇒ 29、30 ページ
オフ / オン

自動電源オフ

設定した日時に本体の電源をオフするかどうかを設定します。⇒ 31 ページ
オフ / オン

初期設定に戻す

日付 / 日時設定以外の本製品の設定をお買い上げ時の状態に戻します。

4 付録

困ったときは

故障かな？と思ったときは、すぐに使用を中止して、本製品の電源を切り、AC アダプターをコンセントから抜いてください。そのあとで、次の表で異常の状態と原因を確認し、記載されている対処方法を試してください。
それでも異常が解決しない場合は、お買い上げの販売店またはエレコム総合インフォメーションセンターまでご連絡ください。

異常の状態	原因	対処方法
本体に電源が入らない	AC アダプターが接続されていない	AC アダプターを本体とコンセントに正しく接続してください。(⇒ 20 ページ)
本体ボタンで操作できない	磁気や静電気の影響を受けている	マグネットの近くなどの磁場が発生するところから本体を離してください。 いったん AC アダプターをコンセントからに抜き、接続し直してください。
リモコンで操作できない	リモコンに正しく電池が入っていない	• 保護シートを引き抜いてください。(⇒ 17 ページ) • 電池の⊕を上にして電池ホルダーに入れてください。(⇒ 17 ページ)
	リモコンの電池が寿命になった	新しい電池に交換してください。(⇒ 17 ページ)
	リモコンの操作範囲を超えている	約 5 m、上下左右 30° 以内に近づいてください。(⇒ 18 ページ)
	リモコンと本体の間に障害物がある	障害物を取り除いてください。
	本体のリモコン受光部がふさがれている、強い光が当たっている	本体を別の場所に移動してください。
写真が映らない	メディアが正しく挿入されていない	• メディアを正しく挿入してください。(⇒ 21、22 ページ) • 別のメディアに交換して試してください。
	メディアに正しい画像ファイルが保存されていない	メディアにファイル形式が JPEG の画像を保存してください。
	画像ファイルをパソコンで加工している	加工した画像ファイルは正しく表示されない場合があります。
	磁気や静電気の影響を受けている	マグネットの近くなどの磁場が発生するところから本体を離してください。 いったん AC アダプターをコンセントからに抜き、接続し直してください。

異常の状態	原因	対処方法
スライドショーが始まらない	写真が固定されている	OKを押してください。(⇒ 24、25 ページ)
	スライド間隔が長くなっている	設定画面の「スライド間隔設定」で時間を調整してください。(⇒ 33 ページ)
写真の色がおかしい	画像調整の設定が変更されている	設定画面の「画質調整」でコントラスト、明るさ、彩度、色合いをお好みに合わせて調整してください。(⇒ 33 ページ)
	印刷した写真の色と違う	本製品やプリンタの性能によって、写真の色は異なります。故障ではありません。
写真の表示がおかしい	写真が縦または横に伸びている	「写真モード」が「フルスクリーン」のとき、写真の縦横比が変わることがあります。(⇒ 33 ページ)
	写真の上下が切れている	•「写真モード」が「自動調整」のとき、写真の上下がカットされることがあります。(⇒33ページ) • 4 枚表示では、写真を任意で拡大、縮小、カットします。 •「時計 & 写真」での写真はすべて「自動調整」で表示されます。(⇒ 33 ページ)
	左右に黒い帯が表示される	「写真モード」が「オリジナル」のとき、4：3 や 3：2 などの写真は、左右に黒い帯が表示されます。(⇒ 33 ページ)
ファイル名が正しく表示されない	コンピューターなどでファイル名を変更した	• コンピューターなどでファイル名を変更したり、つけたりすると正しく表示されないことがあります。 • コピーできるファイル名、フォルダ名の文字数には制限があります。 ファイル名＝半角 128 文字、全角 64 文字 フォルダ名＝半角 52 文字、全角 26 文字 制限文字数を超える部分は自動的に名称がカットされます。
コピーができない	メモリカードスロットⓁに SD メモリーカードが挿入されていない	メモリカードスロットⓁに SD メモリーカードを挿入してください。
	メモリカードの容量が不足している	• コピーしたいデータサイズより多くのメモリ使用可能領域を持つ SD メモリーカードをご使用ください。 • フォルダーをコピーした際に JPEG フォーマット以外のデータをコピーし、容量を取っている可能性があります。パソコンでメモリ内のデータ内容を確認してください。

異常の状態	原因	対処方法
コピーができない	「data」名称のフォルダをコピーした	大文字・小文字・その組み合わせに関係なく「data」の4文字を使用したフォルダーをコピーしないでください。
コピー中に動作が止まってしまった	容量の大きいファイルをコピーしている	29ページの「メモ：コピー・削除にかかる参考時間」を確認し、その所要時間から予想できる2倍の時間を過ぎても動作が進まない場合は、次の操作を順番に実行してください。 ①リモコンの[Back]を押します。 この操作が有効なときは、本機は正常に動作しています。 ②DCプラグをコンセントから抜き30秒程度待った後に、メモリカード、USBメモリを取り外し、DCプラグを接続し直して再起動させます。 ⚠ **この作業の途中で、本体に装着しているメディアを絶対に抜かないでください。内蔵データの破損や消失の原因となります。**

ユーザーサポートについて

【よくあるご質問とその回答】
www.elecom.co.jp/support
こちらから「製品Q&A」をご覧ください。

【お電話・FAXによるお問い合わせ（ナビダイヤル）】
エレコム総合インフォメーションセンター
TEL：0570-084-465　FAX：0570-050-012
[受付時間]
9:00 ～ 19:00　年中無休

※本製品の保証書は再発行致しませんので内容をお確かめの上大切に保管してください。

製品仕様

シリーズ名	LA MAISON DE MÉMOIRE[ラ メゾンド メモワール]	
製品名	Precious Scene [プレシャスシーン]	Eternity Love [エタニティーラブ]
製品型番	DPF-D7WS11BK DPF-D7WS11PN DPF-D7WS11WH	DPF-D7WW11BK DPF-D7WW11PN DPF-D7WW11WH
画面サイズ	7 インチワイド	
液晶タイプ	TFT(ワイド)	
最大解像度	800 × 480 pixel	
対応メディア	• メモリカード※1（下表） • USB メモリ(セキュリティー機能のあるものは使用できません)	

分類	種類	対応サイズ
SD	SD メモリーカード	2GB
	SDHC メモリーカード	32GB
	SDXC メモリーカード	非対応
	miniSDHC メモリーカード※2	4GB
	microSD メモリーカード※2	2GB
	microSDHC メモリーカード※2	16GB
MS	メモリースティック	128MB
	メモリースティック デュオ	128MB
	メモリースティック PRO	4GB
	メモリースティック PRO デュオ	8GB
	メモリースティック PRO -HG デュオ	32GB
	「メモリースティック マイクロ」(M2)※2	16GB
MMC	マルチメディアカード	2GB

USB ポート	A タイプ	
対応ファイル形式	JPEG	
消費電力	最大 5W	
サイズ	H134 × W198 × D28 mm (スタンド部を除く)	H152 × W216 × D29 mm (スタンド部を除く)
本体重量	約 410 g	約 700 g
リモコン	有り	

※ 1：メモリリーダライタを利用する場合は、製品によって使用できるメモリカードが異なります。詳細はメモリリーダライタの取扱説明書を参照してください。

※ 2：専用の変換アダプターを利用して読み込むことができます。
(本製品に変換アダプターは付属していません。)

ご注意

USB ハブや USB ハブ機能付きメモリリーダライタ・USB メモリは使用できません。

■保証内容

1. 弊社が定める保証期間(本製品ご購入日から起算されます。)内に、適切な使用環境で発生した本製品の故障に限り、無償で本製品を修理または交換いたします。

■無償保証範囲

2. 以下の場合には、保証対象外となります。
   (1) 保証書および故障した本製品をご提出いただけない場合。
   (2) 保証書に販売店ならびに購入年月日の記載がない場合、またはご購入日が確認できる証明書(レシート・納品書など)をご提示いただけない場合。
   (3) 保証書に偽造・改変などが認められた場合。
   (4) 弊社および弊社が指定する機関以外の第三者ならびにお客様による改造、分解、修理により故障した場合。
   (5) 弊社が定める機器以外に接続、または組み込んで使用し、故障または破損した場合。
   (6) 通常一般家庭内で想定される使用環境の範囲を超える温度、湿度、振動等により故障した場合。
   (7) 本製品を購入いただいた後の輸送中に発生した衝撃、落下等により故障した場合。
   (8) 地震、火災、落雷、風水害、その他の天変地異、公害、異常電圧などの外的要因により故障した場合。
   (9) その他、無償修理または交換が認められない事由が発見された場合。

■修理

3. 修理のご依頼は、本保証書を本製品に添えて、お買い上げの販売店にお申し付けください。
4. 同機種での交換ができない場合は、保証対象製品と同等またはそれ以上の性能を有する他の製品と交換させていただく場合があります。
5. 有償、無償にかかわらず修理により交換された旧部品または旧製品等は返却いたしかねます。
6. 記憶メディア・ストレージ製品において、修理センターにて製品交換を実施した際にはデータの保全は行わず、全て初期化いたします。記憶メディア・ストレージ製品を修理に出す前には、お客様ご自身でデータのバックアップを取っていただきますようお願い致します。

■免責事項

7. 本製品の故障について、弊社に故意または重大な過失がある場合を除き、弊社の債務不履行および不法行為等の損害賠償責任は、本製品購入代金を上限とさせていただきます。
8. 本製品の故障に起因する派生的、付随的、間接的および精神的損害、逸失利益、ならびにデータ損害の補償等につきましては、弊社は一切責任を負いかねます。

■有効範囲

9. 保証書は、日本国内においてのみ有効です。
10. 保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

デジタルフォトフレーム
DPF-D7WS11 シリーズ
DPF-D7WW11 シリーズ
取扱説明書　2011 年 9 月 25 日 第 1 版